

## 消化器外科 I に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] BCLC Classification Stage B, C 症例に対する肝切除の意義

[研究機関] 北海道大学病院消化器外科 I （病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 神山 俊哉 （消化器外科 I・准教授）

### [研究の目的]

BCLC（バルセロナ臨床肝がん）病期分類（BCLC Classification）では肝切除適応となる症例は門脈圧亢進がなく肝機能が保たれ、小さい腫瘍に限られ、多発例は TACE、肉眼的血管侵襲陽性、リンパ節転移、遠隔転移陽性症例はソラフェニブが推奨されています。日本では障害肝、高度進行癌に対しても多くの肝切除が行われているのが現状です。今回、BCLC Stage B, C 症例に対する肝切除の意義を検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

1990年1月から2014年9月まで当科で肝細胞癌の切除を行った方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、前治療の有無、内容、検査結果（血小板数、PT、アルブミン、ICG-R15 値、総ビリルビン、AFP、PIVKA-II）、術前 child-pugh 分類、肝障害度、手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無、再発の有無、予後、画像診断結果（CT、<sup>99m</sup>Tc-GSA シンチ）、病理検査所見

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 神山 俊哉

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515